

昭恵夫人 安倍首相の姑 **ゴッドマザー** 洋子さん **ケジメとれ!** 怒りの面罵

松田龍平に大泉洋キレた **台詞覚えてない!**

小林麻央 **勤王の誕生日** 家族で薬 **生命の菜園**

4月11日号 定価400円 光文社

# 自身白性

有働由美子も結婚はいい! 48歳誕生日良縁 **お守り100個の無益**

両陛下から受け継がれた非戦の思い...卒業文集で15歳の決意

斎藤工 SEXYの素顔

愛子 **まさ示された** **女性天皇への道**

木村拓哉 **脱PSM APへリセット** LIFE **5月始動**

稀勢の里 **お見合い実父告白と10年、結婚はダメ!!**

丸斎藤 **非情。ポイ捨て婚約者激怒**

龍池 **理事長 小3で実倒産 虚勢人生**

西内まりや **やがて非婚の誓い宣言**

中居 **ハナイキ30万円分** 芸能界差し入れ選手権 **新女王はガツキ!**

美女ではありません **美魔男** を支える **ひま** **最強美容アイテム32**

飲みすぎは死を招く **危ない認知症薬** 4大製品

**もやしが消える日!** 10円は安すぎ 廃業続々...

余命ゼロ回 奇跡の生還シェフが本誌に伝授 **がんで死なない食の極意**

全国 **介護に優しい街** ランキング **水晶玉子** オリエンタル占星術 3か月カレンダー

萩原博子 **得ワザ** 指南! **ポイント** は金券に **新電力** 得した家庭 自由化1年を追跡取材!

**金運最強! 小池 **龍子** のゴールド財布**



アリセプト、メモリー……医師の「無知処方、が

# 「認知症薬」は

認知症の家族が飲んでいる薬を、あなたは把握しているだろうか。薬を飲み始めたことで、徘徊やキの処方を誤っている可能性がある。左下の表にあてはまるなら、ぜひもう一度医療機関を受診してほ

写真：T-STUDIO/アフロ

処方されすぎ、の可能性アリの認知症薬	
アリセプト	日本で開発され、'99年に認可された世界初のアルツハイマー型、およびレビー小体型認知症薬。国内外で最も頻用されている。
メモリー	ドイツで開発され、日本では'11年に発売されたアルツハイマー型認知症薬。ほか3剤と作用点が多いため併用されることが多い。強い眠気の副作用あり。
リバスタッチパッチ	抗認知症薬の中で唯一の肌に貼るタイプの薬。ほか3剤と比較しその効果はマイルドで副作用リスクが少ない。皮膚がかぶれやすいためケアが必要。
レミニール	スウェーデンで開発され、日本では'11年から販売されているアルツハイマー型認知症薬。吐き気の副作用が強く、慎重投与が原則。

## 認知症薬を飲み始めてからこんな症状が出ていませんか？

- ① 怒りっぽくキレやすくなった
- ② 暴れるようになった
- ③ 徘徊するようになった
- ④ 夜中に騒ぐようになった
- ⑤ すぐに興奮するようになった
- ⑥ 見えないものが見えると話すようになった
- ⑦ 食事のとき飲み込みが悪くなった
- ⑧ 歩行がおぼつかなくなった
- ⑨ 寝たきりになった

↑あてはまる場合は、薬が本当に合っているかどうか、再度医療機関でチェックを！

食事までできない状態になったのです。しかし、メモリーを処方していた医師は「認知症の末期だからしょうがない」と家族に伝えただけで、それ以上治療はしませんでした。そのままにしていたら、佳恵さんは脱水症状で数日後には亡くなってしまったはず。

石黒先生は「すぐシチコリンという薬剤を筋肉注射し、さらに、グルタチオンという薬剤の点滴を開始。すると筋肉注射から15分たったころ、佳恵さんのまぶたが開いたのだ。家族から歓声が上がった。さらに30分後、佳恵さんはゆっくりと半身を起こしてベッドに腰掛けた。石黒先生が、「佳恵さん、お水、飲める？」と聞くと、佳恵さんは大きくうなずき、はつきり答えた。「はい、喉が渇いておりました」

「もう手の施しようがないと思われた患者さんでも、薬の調整をすれば、このようにいつもおりの暮らしを送れるようになるんです」

「認知症中核薬の増量規定によると、昨年6月、正当な理由があり、かつ、それを国保・社保が認めたときに限り、少量投与が可能になりました。しかし製薬会社と密接な関係を持つ大病院の医師の中には、これに異を唱える者もいます。その影響もあり、いまだ9割ほどの医師が、疑問を感じることなく、死の処方」を続けているのです。

患者の「死」を誘発する

# 「飲みすぎ」が9割！

レやすくなるなどの「周辺症状」が悪化してはいないだろうか。その場合は、薬しい。自ら多くの認知症患者を「殺した」と告白する医師が、現場の真実を語る。



アクアメディカルクリニック院長 石黒 伸先生

医療法人アクア理事長、愛媛大学医学部卒。認知症・神経難病患者の在宅医療に従事する。かたわら、精力的に講演活動もしている

「僕はこれまで、多くの認知症患者さんを「殺して」きました。今この瞬間も「殺し」に加担する医師は存在します」

こう衝撃的な告白をするのは、大阪市内で認知症患者の在宅医療を行う石黒伸先生。「殺す」という言葉には、「活動や動作を抑えとどめる」という意味があります。そういう意味で、僕はこれまで多くの患者さんを殺してきたのです」

石黒先生は、3月に著書告白します。僕は多くの認知症患者を殺しました。（現代書林）を出版し、その中で日本の認知症医療の過ちを告発している。なぜ医療行為が、症状を悪化させてしまうのか？

「まず、認知症の正しい診断ができない医師が多すぎる。認知症では、アルツハイマー型、レビー小体型、ピック病とも呼ばれる前頭側頭型、脳血管性の4大病型が有名です。さらにこれらが混合したり、最近ではパーキンソン病や進行性核上麻痺などの神経難病が認知症の原因と発覚することがよくありますが、多くの医師は知識が十分でなく、

誤診するケースが後を絶たない。たとえば、レビー小体型は少量の薬でも過敏に反応するの、アルツハイマー型と誤診され不適切な処方をされると、副作用で寝たきりになることも少なくない」

さらに石黒先生が強く指摘するのは、薬の処方の方だ。「認知症になると、記憶力や方向感覚の低下、料理など日常の行為ができなくなるといった「中核症状」が表れます。これを治療するために使うのが、アリセプト、リバスタッチパッチ、レミニール、メモリーの4つの認知症中核薬。しかしこれらの薬には、製薬会社が定め、厚生労働省が認めた「増量規定」があります。医師はこの規定に従い、服薬後、なぜか一定期間が過ぎると増量しなければいけません。増量しない場合、保険審査が通らず、薬剤代を医療機関が自腹で負担せねばなりません。しかし増量を続けると、徘徊する、暴れるなどの認知症の「周辺症状」が悪化する、また副作用が強くなるケースが多々あります。たとえばアリセプトは非常に優れた薬で、穏やかなアルツハイマー型の患者さんなら、症状の進行を遅らせることができます。し

「僕は佳恵さんを起こすために注射と点滴をしただけ。最初に筋肉注射したシチコリンには、意識障害を起こしている患者さんの意識の扉をドンと押し目覚めさせるような作用があり、点滴に使ったグルタチオンは脳内のドーパミンを増やし、動作をよくする効用があります。両方とも自然物質なので副作用はほとんどありません」

翌日から佳恵さんはメモリーを中止し、リバスタッチパッチ最小量を使用。そして、コウノメソッド推奨のサプリメントの服用を続けたところ、約半月後には、自宅の急な階段をひとり下りてくるまでに回復を遂げた。

「もう手の施しようがないと思われた患者さんでも、薬の調整をすれば、このようにいつもおりの暮らしを送れるようになるんです」

「死」の処方により寝たきりになり、終末期と診断された患者さんにコウノメソッドを実践し、見違えるほど元気になる例が後を絶ちません」

石黒先生が14年の暮れに診察した金田佳恵さん（仮名・88歳）もその1人。介護していた家族が佳恵さんの容体悪化に焦り、クリニックに電話をかけてきたのだ。

「1週間前から食事までできなくなり、目も開いてくれません。このままでは、お母さんが死んでしまいます！」

佳恵さんは12年にアルツハイマー型と診断され、メモリーを処方された。増量規定に従って最高容量の20mgを1年以上飲み続けたところ、14年春ごろから急に日中ウトウトすることが増えた。11月に発症した急性膀胱炎をきっかけに12月に急激に体調が悪化し、寝たきりになった。

「すぐにレビー小体型認知症と判断しました。レビー小体型は薬剤に過敏なので、規定どおりに認知症中核薬を飲むと副作用が顕著に現れます。佳恵さんが意識障害を起こしたのは、メモリーの副作用による「傾眠」(うとうと)している状態」が原因。佳恵さんは誤診されたうえ、増量規定で

## 問題は薬自体ではなく病型の誤診と処方量

## 寝たきりの患者が断薬と点滴で歩きました